

新たな不登校を生まないために ～6月は重要ポイント！～

1年間の学級経営を左右する重要な月となる6月になりました。

楽しい学級・学校づくりのために 第41号(平成24年6月5日発行)で取り上げましたが、高知市の小学校・中学校ともに、前月に比べて30日以上欠席児童生徒数が増加するのは、6月です。また、少年補導センターの街頭補導者数の増加やパワーアップシートの提出率が落ち込むなど、生徒指導や学力面が気になるのもこの時期です。そこで今回は重要ポイントとなる6月の取り組みについて紹介します。



Q-Uやあったかアンケートの結果をもとに

面談週間を取ろう

6月はなかだるみする時期です。体も心もお疲れモードになっています。そんなときに担任の先生にじっくり話を聞いてもらうと、児童生徒にとって、先生は自分を見てくれているという安心感がうまれます。原則として、全員を面談対象とし、Q-U やあったかアンケートの結果も参考に、丁寧に話を聴きましょう。

特に丁寧に話を聴いてほしい児童生徒

☆ **Q-Uの場合** 学級満足度尺度「いごちのよいクラスにするためのアンケート」の結果から



小学校は、
⑧ぼう力をふるわれる
⑩ひとりぼっちでいる
⑫ムシされている
で「4」をつけた児童

中学校は、
⑪無視される
⑭悪ふざけをされる
⑲学校に行きたくない
で「5」「4」をつけた生徒

☆ **あったかアンケートの場合** 「自分らしさアンケート」の**自己信頼感**の結果から



小学校は ⑤ ⑥ ⑦ ⑧
に「1」をつけている児童
中学校は ① ② ③ ④ ⑤
に「1」をつけている生徒

自己信頼感とは、
自分が自分を信頼し、今のありのままの自分でよいのだと思うことができる感覚。

小学校「自分らしさアンケート」自己信頼感の質問項目

- 5 わたしは、自分が大切な人だと思う。
- 6 わたしは、自分の性格が好きだ。
- 7 わたしは、自分らしさを大切にしている。
- 8 わたしは、自分のことが好きだ。

中学校「自分らしさアンケート」自己信頼感の質問項目

- 1 私は、自分が言っていることは、正しいと思う。
- 2 私は、自分のことが好きである。
- 3 私は、つらいことがあっても、強く生きていけると思う。
- 4 私は、自分には自信の持てるところがあると思う。
- 5 私は、周りの人の役に立っていると感じる。

